

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

○1年生：地域を題材とした紙芝居（生活科）2月

・地域を題材とした紙芝居鑑賞交流（歴訪会代表）

以前の本校区地域の自然の良さを分かりやすく紙芝居で教えていただき、改めて子ども達は地域に対する興味と関心を深めた。

○2年生：こんなすてきな町なんだ（生活科）1月

・校区たんけん（生活科）

手鎌校区のよさを知るために、実際に見学し、お店方や地域の方に説明していただき、自分たちの校区を大切にしようとする気持ちが高まった。

○3年生：のりづくりに挑戦しよう（総合的な学習の時間）

・海苔すき体験をする（有明海研究所）

どろどろとした海苔の溶液を小さな木箱ですくい取り、すのこの上においた型枠の中に平均した厚さになるように流し込み、海苔をつくる。手すきの海苔と機械ですいたのりを食べ比べもした。

○4年生：受け継がれる文化財（総合的な学習の時間）

・紙芝居「手鎌お宝物語」を鑑賞する。

・手鎌校区のお宝をさぐる。（歴訪会、地域の方々）

実際に各グループに分かれて、地域の方々に案内してもらい。①お寺道、②お籠通り、③くじらのほね、④甘木山古墳群、⑤小学校跡と円光寺、⑥親子地蔵、⑦深倉天満宮など情報を収集した。手鎌校区にはたくさんお宝があることが分かり、地域の方々が大切にこのお宝を継続されていることがわかった。私たちも地域の文化財を継承していこうという思いが強まった。

○5年生：郷土の伝統を調べよう（総合的な学習の時間）

・「がたいね踊り」「黒崎の歴史」を学び、発表する

地域の保存会の方々から「がたいね踊り」や「黒崎の歴史」についての紙芝居や踊りを実際にみせていただき、学んだことを手鎌地区公民館で、毎年開催されている「ふれあい文化祭」において大牟田市内・地域の方々へ発表して、地域の伝統の良さを伝えた。

・「黒崎串だごづくり」を実施する。

歴史と里山の会、がたいね保存会、地域の方々と自分たちが収穫した米を米粉にして、蒸しあんこを丸めて「黒崎串だご」を作った。「黒崎串だご」は地域で継続されみんなに親しまれていることがわかった。

○6年：感じよう「支え合う心」

・黒崎苑・サンファミリーと交流し、発表会をする。

認知症について学び、地域の中にある福祉施設「黒崎苑」・「サンファミリー」を2度訪問して、お年寄りの方や施設の方との交流を通して、学んだことをグループごとに授業参観で保護者の方や地域の方々の前で発表した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）